

自立への取り組み その1

新緑うるわしい5月となりました。塾生諸君も学校での新しい学年、新しいクラスにもそろそろ慣れたことでしょう。中学生は今月、さっそく第一回テストがありますね。

さて、今年1月のセミナー通信でお知らせしましたように、当塾では今年、今まで以上に塾生の「自立」に主眼をおいて指導をしております。当塾の指導理念は以下の3点です。

- ・考える習慣をつけよう
- ・自分の目標をもとう
- ・自分から行動しよう

このように、塾としてやるべきことは、“自分で勉強をすすめていくことができる自立したひとりの人間としての成長をたすける”ことにあると考えています。そのうちのひとつ、「考える習慣をつけよう」を達成するための試みは、毎回の授業の中で行っており、確実に成果も出ています。当塾に関する噂で、「西村で最後まで頑張れば、めちゃくちゃ力がつく」というのがあると、以前塾生から聞いたことがあります。今後ともそのように言っていただけるよう、さらに指導力を磨いていきたいと思えます。

ところが一方で、「自分の目標をもとう」と「自分から行動しよう」は、声かけ以外に具体的方策がなく、なかなか達成しにくい目標でした。自分で目標をもち、自分から行動し始めた塾生の伸びは驚くべきものです。毎年数人現れますが、こちらの予想をはるかに上回る結果を出してきます。これこそ「自立」した人間です。内面からわき上がったものだからこそ頑張れるのでしょう。塾生全員がこうなってほしいと望みますが、なかなかそうはいきません。まずは自分で勉強計画を立て、実行する力をつけることが第一歩だと考えました。

そこで、4月から中1と中2に関しましては、理科、社会、国語の勉強計画を各自で立て、実践してもらおうということを始めてみました。もちろん、完全に任せてしまうわけではありません。私のほうでこれまでの資料をもとに各学校の定期テスト範囲を予測し、月初めに学校ごとに進むべき範囲、受けるべきテストを設定します。そのテストをいつ、どのような順番で受けるのか、各自で計画を立て、スケジュール表の中に書き込んでもらいます。毎回の授業の初めにテスト時間を設けていますので、計画に合わせて自己申告で受けていくというわけです。一ヶ月が過ぎ、計画通りにぐんぐん進めた子、思うように進めなかった子とさまざまですが、とにかく今は練習です。少しずつ責任感も芽生えることを期待しています。

“やらされる勉強”から“自らすすめる勉強”へ。まだまだですが、大きな一歩です。